

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年8月27日から2022年5月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（CB）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）</li> <li>・クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。米ドル以外の資産については、原則として米ドルを用いて間接的に為替ヘッジを行います。
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）</li> <li>・クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）／クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）	アジア（除く日本）のCBを主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書（全体版）

### アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型） （為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

第76期（決算日 2018年12月17日） 第79期（決算日 2019年3月18日）

第77期（決算日 2019年1月17日） 第80期（決算日 2019年4月17日）

第78期（決算日 2019年2月18日） 第81期（決算日 2019年5月17日）

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 皆様の「アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」は、2019年5月17日に第81期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第76期～第81期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
 フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

【為替ヘッジあり】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組入比率	BNPパリバ・アジア・ オセアニアCBファンド (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (円ヘッジクラス) 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%	ポイント	%	%	%	%	百万円
52期(2016年12月19日)	8,994	50	△0.2	251.936	0.2	86.5	9.8	—	2,080
53期(2017年1月17日)	9,013	50	0.8	255.155	1.3	86.6	9.3	—	2,089
54期(2017年2月17日)	9,045	50	0.9	259.028	1.5	86.3	9.6	—	2,052
55期(2017年3月17日)	9,007	50	0.1	259.775	0.3	86.6	9.6	—	2,012
56期(2017年4月17日)	9,014	50	0.6	261.953	0.8	86.6	9.3	—	1,993
57期(2017年5月17日)	8,982	50	0.2	261.222	△0.3	86.4	9.6	—	2,039
58期(2017年6月19日)	8,954	50	0.2	262.269	0.4	86.6	9.7	—	2,152
59期(2017年7月18日)	8,878	50	△0.3	261.569	△0.3	85.2	9.5	—	2,259
60期(2017年8月17日)	8,848	50	0.2	263.398	0.7	86.2	9.7	—	2,278
61期(2017年9月19日)	8,874	50	0.9	266.213	1.1	86.2	9.9	—	2,205
62期(2017年10月17日)	8,859	50	0.4	267.708	0.6	85.9	9.7	—	2,210
63期(2017年11月17日)	8,761	50	△0.5	267.143	△0.2	85.8	9.5	—	2,202
64期(2017年12月18日)	8,698	50	△0.1	267.736	0.2	86.5	9.5	—	2,080
65期(2018年1月17日)	8,682	50	0.4	269.527	0.7	86.4	9.8	—	2,018
66期(2018年2月19日)	8,538	50	△1.1	266.936	△1.0	81.7	12.7	—	1,965
67期(2018年3月19日)	8,464	50	△0.3	266.943	0.0	83.2	12.3	—	1,920
68期(2018年4月17日)	8,381	50	△0.4	266.664	△0.1	84.5	0.1	11.3	1,880
69期(2018年5月17日)	8,168	50	△1.9	261.310	△2.0	83.2	—	11.5	1,763
70期(2018年6月18日)	8,041	50	△0.9	260.358	△0.4	83.8	—	11.5	1,710
71期(2018年7月17日)	7,751	50	△3.0	254.091	△2.4	79.6	—	11.8	1,641
72期(2018年8月17日)	7,860	50	2.1	260.206	2.4	83.8	—	12.0	1,596
73期(2018年9月18日)	7,790	50	△0.3	260.124	△0.0	83.4	—	12.5	1,543
74期(2018年10月17日)	7,734	50	△0.1	260.565	0.2	83.9	—	11.8	1,482
75期(2018年11月19日)	7,550	50	△1.7	255.881	△1.8	83.8	—	12.0	1,370
76期(2018年12月17日)	7,546	50	0.6	259.506	1.4	82.7	—	10.4	1,295
77期(2019年1月17日)	7,551	50	0.7	263.097	1.4	82.9	—	10.3	1,299
78期(2019年2月18日)	7,645	50	1.9	270.231	2.7	86.4	—	10.6	1,266
79期(2019年3月18日)	7,740	40	1.8	277.118	2.5	84.9	—	10.9	1,254
80期(2019年4月17日)	7,742	40	0.5	280.230	1.1	85.0	—	11.2	1,230
81期(2019年5月17日)	7,657	40	△0.6	280.824	0.2	84.5	—	11.2	1,205

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」、「BNPパリバ・アジア・オセアニアCBファンド(適格機関投資家専用)(2018年5月9日まで)」、「クレディ・スイス・アジアCBファンド(円ヘッジクラス)(2018年3月20日より)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組 入 比 率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (円ヘッジクラス) 組 入 比 率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第76期	(期 首) 2018年11月19日	円 7,550	% -	ポイント 255.881	% -	% 83.8	% 12.0
	11月末	7,533	△0.2	256.149	0.1	85.0	11.6
	(期 末) 2018年12月17日	7,596	0.6	259.506	1.4	82.7	10.4
第77期	(期 首) 2018年12月17日	7,546	-	259.506	-	82.7	10.4
	12月末	7,509	△0.5	259.378	△0.0	83.1	10.3
	(期 末) 2019年1月17日	7,601	0.7	263.097	1.4	82.9	10.3
第78期	(期 首) 2019年1月17日	7,551	-	263.097	-	82.9	10.3
	1月末	7,622	0.9	266.929	1.5	84.7	10.4
	(期 末) 2019年2月18日	7,695	1.9	270.231	2.7	86.4	10.6
第79期	(期 首) 2019年2月18日	7,645	-	270.231	-	86.4	10.6
	2月末	7,670	0.3	271.735	0.6	84.0	10.9
	(期 末) 2019年3月18日	7,780	1.8	277.118	2.5	84.9	10.9
第80期	(期 首) 2019年3月18日	7,740	-	277.118	-	84.9	10.9
	3月末	7,791	0.7	280.141	1.1	84.9	10.9
	(期 末) 2019年4月17日	7,782	0.5	280.230	1.1	85.0	11.2
第81期	(期 首) 2019年4月17日	7,742	-	280.230	-	85.0	11.2
	4月末	7,753	0.1	281.007	0.3	85.0	11.2
	(期 末) 2019年5月17日	7,697	△0.6	280.824	0.2	84.5	11.2

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組入比率	BNPパリバ・アジア・オセアニアCBファンド (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%	ポイント	%	%	%	%	百万円
52期(2016年12月19日)	11,483	120	7.7	29,635.22	8.4	87.2	9.5	—	30,629
53期(2017年1月17日)	11,151	120	△1.8	29,128.52	△1.7	86.6	9.5	—	28,253
54期(2017年2月17日)	11,074	120	0.4	29,391.94	0.9	86.5	9.6	—	28,009
55期(2017年3月17日)	10,984	120	0.3	29,479.30	0.3	85.8	9.7	—	28,572
56期(2017年4月17日)	10,471	120	△3.6	28,366.92	△3.8	86.4	9.6	—	27,862
57期(2017年5月17日)	10,782	120	4.1	29,413.62	3.7	86.4	9.6	—	28,955
58期(2017年6月19日)	10,558	120	△1.0	29,119.68	△1.0	85.8	9.6	—	30,109
59期(2017年7月18日)	10,545	120	1.0	29,408.18	1.0	85.4	9.7	—	33,760
60期(2017年8月17日)	10,248	120	△1.7	28,973.81	△1.5	86.0	9.6	—	35,639
61期(2017年9月19日)	10,358	120	2.2	29,672.09	2.4	86.0	9.6	—	37,972
62期(2017年10月17日)	10,358	120	1.2	30,047.52	1.3	85.6	9.7	—	39,634
63期(2017年11月17日)	10,258	120	0.2	30,179.10	0.4	86.1	9.6	—	40,908
64期(2017年12月18日)	10,116	120	△0.2	30,189.91	0.0	86.3	9.5	—	41,590
65期(2018年1月17日)	9,857	120	△1.4	29,745.01	△1.5	85.5	9.9	—	41,198
66期(2018年2月19日)	9,304	120	△4.4	28,375.29	△4.6	82.4	13.1	—	38,944
67期(2018年3月19日)	9,145	120	△0.4	28,277.24	△0.3	83.5	12.4	—	37,194
68期(2018年4月17日)	9,099	120	0.8	28,554.41	1.0	84.5	0.1	11.5	35,838
69期(2018年5月17日)	9,072	120	1.0	28,830.34	1.0	84.4	—	11.5	34,881
70期(2018年6月18日)	8,895	120	△0.6	28,787.76	△0.1	84.2	—	11.7	33,416
71期(2018年7月17日)	8,659	120	△1.3	28,569.98	△0.8	84.2	—	12.4	30,991
72期(2018年8月17日)	8,624	120	1.0	28,854.27	1.0	84.9	—	12.7	29,115
73期(2018年9月18日)	8,574	120	0.8	29,089.68	0.8	84.6	—	12.3	26,844
74期(2018年10月17日)	8,499	120	0.5	29,290.13	0.7	84.8	—	11.8	25,229
75期(2018年11月19日)	8,278	120	△1.2	28,845.44	△1.5	83.8	—	12.0	22,801
76期(2018年12月17日)	8,273	120	1.4	29,446.16	2.1	83.3	—	10.4	21,510
77期(2019年1月17日)	7,930	120	△2.7	28,669.66	△2.6	85.1	—	10.9	19,656
78期(2019年2月18日)	8,096	120	3.6	29,871.33	4.2	87.3	—	10.7	18,763
79期(2019年3月18日)	8,271	60	2.9	30,920.79	3.5	84.3	—	11.3	18,186
80期(2019年4月17日)	8,316	60	1.3	31,425.00	1.6	85.8	—	11.4	17,037
81期(2019年5月17日)	8,076	60	△2.2	30,890.60	△1.7	84.4	—	11.4	16,254

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」、「BNPパリバ・アジア・オセアニアCBファンド (適格機関投資家専用) (2018年5月9日まで)」、「クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) (2018年3月20日より)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組 入 比 率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) 組 入 比 率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
第76期	(期 首) 2018年11月19日	円	%	ポイント	%	%	%
		8,278	—	28,845.44	—	83.8	12.0
	11月末	8,314	0.4	29,065.25	0.8	84.9	11.7
第77期	(期 末) 2018年12月17日	8,393	1.4	29,446.16	2.1	83.3	10.4
	(期 首) 2018年12月17日	8,273	—	29,446.16	—	83.3	10.4
	12月末	8,074	△2.4	28,791.00	△2.2	86.2	10.6
第78期	(期 末) 2019年1月17日	8,050	△2.7	28,669.66	△2.6	85.1	10.9
	(期 首) 2019年1月17日	7,930	—	28,669.66	—	85.1	10.9
	1月末	8,019	1.1	29,084.55	1.4	86.6	10.6
第79期	(期 末) 2019年2月18日	8,216	3.6	29,871.33	4.2	87.3	10.7
	(期 首) 2019年2月18日	8,096	—	29,871.33	—	87.3	10.7
	2月末	8,153	0.7	30,127.25	0.9	85.3	11.1
第80期	(期 末) 2019年3月18日	8,331	2.9	30,920.79	3.5	84.3	11.3
	(期 首) 2019年3月18日	8,271	—	30,920.79	—	84.3	11.3
	3月末	8,288	0.2	31,092.87	0.6	86.2	11.6
第81期	(期 末) 2019年4月17日	8,376	1.3	31,425.00	1.6	85.8	11.4
	(期 首) 2019年4月17日	8,316	—	31,425.00	—	85.8	11.4
	4月末	8,310	△0.1	31,430.59	0.0	84.7	11.3
	(期 末) 2019年5月17日	8,136	△2.2	30,890.60	△1.7	84.4	11.4

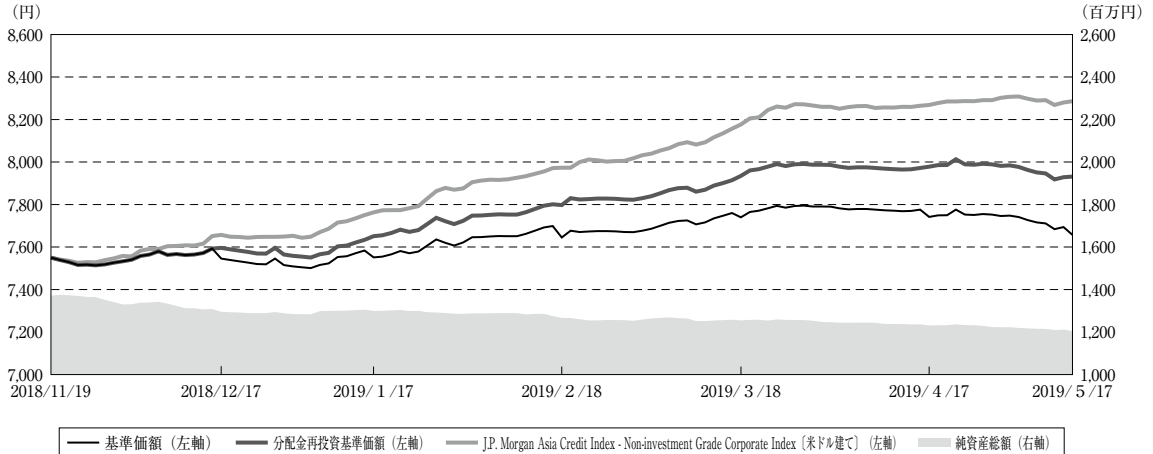
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2018年11月20日～2019年5月17日）

【為替ヘッジあり】



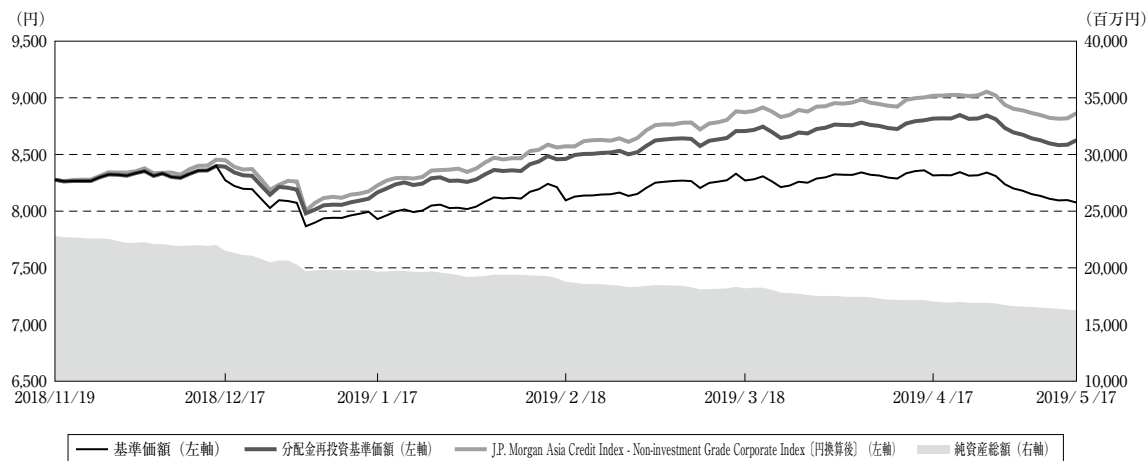
第76期首：7,550円

第81期末：7,657円（既払分配金（税引前）：270円）

騰落率：5.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第76期首：8,278円

第81期末：8,076円（既払分配金（税引前）：540円）

騰落率：4.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
  - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）
  - ・中国の不動産や情報技術セクターの保有がプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・特にありません。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）
  - ・世界的な景気鈍化懸念や米中貿易摩擦の長期化が警戒されたことなど一部の保有CB（転換社債）の価格下落がマイナス要因となりました。



＜アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）＞

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**（主なプラス要因）**

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
  - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）
  - ・中国の不動産や情報技術セクターの保有がプラス要因となりました。

**（主なマイナス要因）**

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）
  - ・世界的な景気鈍化懸念や米中貿易摩擦の長期化が警戒されたことなど一部の保有CB（転換社債）の価格下落がマイナス要因となりました。
  - ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2018年11月20日～2019年5月17日）

当作成期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、上昇しました。中国政府の景気刺激策に対する期待などから、作成期初より底堅く推移しました。2019年に入ると、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げに慎重な姿勢を見せたことや米中貿易協議の進展期待などから、上昇基調が強まりました。

アジアCB市場は、世界的な景気鈍化懸念などから、2018年12月にかけて下落しました。2019年に入ると、米国の利上げ観測が後退したことや中国の主要な景気指標が底堅いことから上昇に転じました。しかし2019年4月中旬以降は、米中貿易摩擦の再燃が懸念されたことから、再び反落する展開となりました。

為替市場は、米中貿易摩擦に対する警戒感などから2018年12月にかけて米ドルが対円で下落しました。しかし2019年に入ると、景気に対する楽観的な見方が広がったことを受けて、米ドルが対円で上昇しました。作成期末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が再燃したことなどから、米ドルは対円で軟調な展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2018年11月20日～2019年5月17日）

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いました。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）

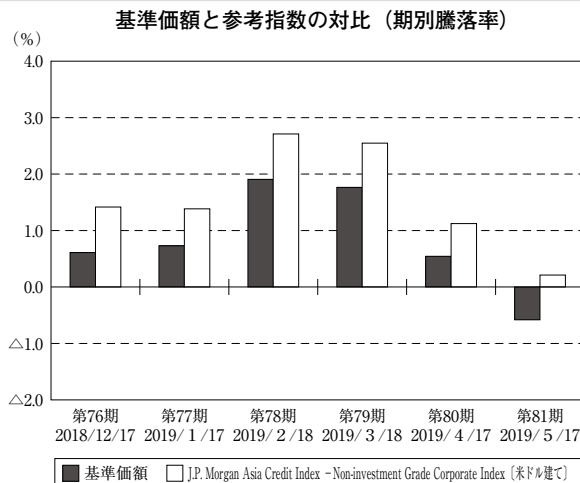
日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年11月20日～2019年5月17日)

### 【為替ヘッジあり】

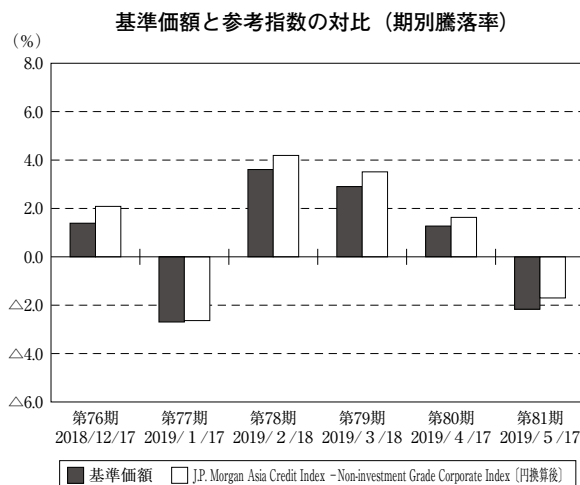
当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]」を4.7%下回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。  
 (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

### 【為替ヘッジなし】

当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]」を2.9%下回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。  
 (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

## 分配金

（2018年11月20日～2019年5月17日）

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第76期から第78期の決算期にそれぞれ1万口当たり50円（税引前）、第79期から第81期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、合計270円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
当期分配金	50	50	50	40	40	40
（対基準価額比率）	0.658%	0.658%	0.650%	0.514%	0.514%	0.520%
当期の収益	33	29	37	31	29	26
当期の収益以外	16	20	12	8	10	13
翌期繰越分配対象額	559	538	526	518	507	494

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第76期から第78期の決算期にそれぞれ1万口当たり120円（税引前）、第79期から第81期の決算期にそれぞれ1万口当たり60円（税引前）、合計540円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
当期分配金	120	120	120	60	60	60
（対基準価額比率）	1.430%	1.491%	1.461%	0.720%	0.716%	0.737%
当期の収益	39	28	41	33	34	28
当期の収益以外	80	91	78	26	25	31
翌期繰越分配対象額	1,023	931	853	827	802	771

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行いません。

【為替ヘッジあり】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年5月17日)

項 目	第76期～第81期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	47 (18) (28) ( 1)	0.620 (0.233) (0.371) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 ( 0) ( 0)	0.007 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	47	0.627	
作成期間中の平均基準価額は、7,646円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年11月20日～2019年5月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 76 期 ～ 第 81 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	クレディ・スイス・アジア C B ファンド（円ヘッジクラス）	—	—	3,237	30,000
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	—	—	204,118,555	165,000
合 計		—	—	204,121,792	195,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年11月20日～2019年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 75 期 末	第 81 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
クレディ・スイス・アジア C B ファンド（円ヘッジクラス）		17,760	14,522	134,943	11.2
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）		1,446,176,872	1,242,058,317	1,018,612	84.5
合 計		1,446,194,632	1,242,072,839	1,153,555	95.7

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。



○投資信託財産の構成

（2019年5月17日現在）

項 目	第 81 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,153,555	% 95.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	60,347	5.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,213,902	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
	2018年12月17日現在	2019年1月17日現在	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月17日現在	2019年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,319,773,696	1,309,628,223	1,290,180,126	1,263,277,275	1,240,962,191	1,213,902,765
コール・ローン等	84,465,588	99,100,938	60,613,923	60,880,743	56,141,435	60,347,647
投資信託受益証券（評価額）	1,205,308,108	1,210,527,285	1,229,566,203	1,202,396,532	1,184,820,756	1,153,555,118
未収入金	30,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	24,359,630	10,005,869	23,409,012	8,411,393	10,118,838	8,563,399
未払収益分配金	8,583,655	8,605,096	8,284,926	6,484,990	6,359,449	6,296,749
未払解約金	14,462,527	—	13,679,592	693,094	2,453,097	985,692
未払信託報酬	1,299,717	1,386,010	1,429,604	1,220,556	1,292,757	1,267,641
未払利息	171	182	76	49	107	108
その他未払費用	13,560	14,581	14,814	12,704	13,428	13,209
(C) 純資産総額（A－B）	1,295,414,066	1,299,622,354	1,266,771,114	1,254,865,882	1,230,843,353	1,205,339,366
元本	1,716,731,067	1,721,019,222	1,656,985,261	1,621,247,518	1,589,862,375	1,574,187,303
次期繰越損益金	△ 421,317,001	△ 421,396,868	△ 390,214,147	△ 366,381,636	△ 359,019,022	△ 368,847,937
(D) 受益権総口数	1,716,731,067口	1,721,019,222口	1,656,985,261口	1,621,247,518口	1,589,862,375口	1,574,187,303口
1万口当たり基準価額（C/D）	7,546円	7,551円	7,645円	7,740円	7,742円	7,657円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第76期421,317,001円、第77期421,396,868円、第78期390,214,147円、第79期366,381,636円、第80期359,019,022円、第81期368,847,937円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第76期0.7546円、第77期0.7551円、第78期0.7645円、第79期0.7740円、第80期0.7742円、第81期0.7657円です。

（注）当ファンドの第76期首元本額は1,815,777,808円、第76～81期中追加設定元本額は59,875,969円、第76～81期中一部解約元本額は301,466,474円です。

○損益の状況

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,630,604	5,763,289	6,534,643	5,408,871	5,543,728	5,459,181
受取配当金	6,634,377	5,769,114	6,537,964	5,410,266	5,545,934	5,461,839
受取利息	—	—	29	89	8	—
支払利息	△ 3,773	△ 5,825	△ 3,350	△ 1,484	△ 2,214	△ 2,658
(B) 有価証券売買損益	2,406,395	5,274,347	18,627,995	17,628,664	2,296,616	△ 11,271,885
売買益	2,842,540	6,376,395	19,038,808	17,829,868	2,423,575	61,723
売買損	△ 436,145	△ 1,102,048	△ 410,813	△ 201,204	△ 126,959	△ 11,333,608
(C) 信託報酬等	△ 1,313,421	△ 1,400,751	△ 1,444,567	△ 1,233,326	△ 1,306,359	△ 1,280,960
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,723,578	9,636,885	23,718,071	21,804,209	6,533,985	△ 7,093,664
(E) 前期繰越損益金	△288,640,462	△286,399,811	△274,675,629	△251,556,880	△230,123,340	△227,654,906
(F) 追加信託差損益金	△131,816,462	△136,028,846	△130,971,663	△130,143,975	△129,070,218	△127,802,618
(配当等相当額)	( 53,406,380)	( 54,099,415)	( 52,087,115)	( 51,239,826)	( 50,454,917)	( 49,958,137)
(売買損益相当額)	(△185,222,842)	(△190,128,261)	(△183,058,778)	(△181,383,801)	(△179,525,135)	(△177,760,755)
(G) 計(D+E+F)	△412,733,346	△412,791,772	△381,929,221	△359,896,646	△352,659,573	△362,551,188
(H) 収益分配金	△ 8,583,655	△ 8,605,096	△ 8,284,926	△ 6,484,990	△ 6,359,449	△ 6,296,749
次期繰越損益金(G+H)	△421,317,001	△421,396,868	△390,214,147	△366,381,636	△359,019,022	△368,847,937
追加信託差損益金	△131,816,462	△136,028,846	△130,971,663	△130,143,975	△129,070,218	△127,802,618
(配当等相当額)	( 53,406,380)	( 54,099,415)	( 52,087,115)	( 51,239,826)	( 50,454,917)	( 49,958,137)
(売買損益相当額)	(△185,222,842)	(△190,128,261)	(△183,058,778)	(△181,383,801)	(△179,525,135)	(△177,760,755)
分配準備積立金	42,650,044	38,650,238	35,157,193	32,817,178	30,286,847	27,890,863
繰越損益金	△332,150,583	△324,018,260	△294,399,677	△269,054,839	△260,235,651	△268,936,182

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
(a) 配当等収益(費用控除後)	5,666,947円	5,031,957円	6,159,489円	5,119,286円	4,620,002円	4,178,221円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	53,406,380円	54,099,415円	52,087,115円	51,239,826円	50,454,917円	49,958,137円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	45,566,752円	42,223,377円	37,282,630円	34,182,882円	32,026,294円	30,009,391円
分配対象収益(a+b+c+d)	104,640,079円	101,354,749円	95,529,234円	90,541,994円	87,101,213円	84,145,749円
分配対象収益(1万口当たり)	609円	588円	576円	558円	547円	534円
分配金額	8,583,655円	8,605,096円	8,284,926円	6,484,990円	6,359,449円	6,296,749円
分配金額(1万口当たり)	50円	50円	50円	40円	40円	40円

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
1万口当たり分配金（税引前）	50円	50円	50円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

【為替ヘッジなし】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年11月20日～2019年5月17日）

項 目	第76期～第81期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	51 (19) (30) ( 1)	0.620 (0.233) (0.371) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 1) ( 0)	0.007 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	52	0.627	
作成期間中の平均基準価額は、8,193円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年11月20日～2019年5月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 76 期 ～ 第 81 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	クレディ・スイス・アジア C B ファンド（ヘッジなしクラス）	—	—	86,340	850,000
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	—	—	4,754,980,412	5,780,000
	合 計	—	—	4,755,066,752	6,630,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年11月20日～2019年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第 75 期 末	第 81 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・アジア C B ファンド（ヘッジなしクラス）	277,439	191,098	1,859,199	11.4
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	15,951,511,397	11,196,530,985	13,714,630	84.4
合 計	15,951,788,836	11,196,722,083	15,573,830	95.8

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2019年5月17日現在）

項 目	第 81 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 15,573,830	% 94.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	975,466	5.9
投 資 信 託 財 産 総 額	16,549,296	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
	2018年12月17日現在	2019年1月17日現在	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月17日現在	2019年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	22,198,356,103	20,151,953,520	19,498,804,640	18,517,198,840	17,407,299,186	16,549,296,492
コール・ローン等	1,544,533,963	1,275,100,006	1,117,248,599	1,120,530,198	858,256,901	975,465,760
投資信託受益証券（評価額）	20,153,822,140	18,876,853,514	18,381,556,041	17,396,668,642	16,549,042,285	15,573,830,732
未収入金	500,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	687,736,814	495,838,775	734,910,700	330,971,498	370,291,756	294,817,751
未払収益分配金	311,997,673	297,429,904	278,128,501	131,923,500	122,927,444	120,767,531
未払解約金	353,907,813	176,400,017	435,022,090	181,021,412	228,950,972	156,490,854
未払信託報酬	21,602,718	21,778,436	21,535,295	17,840,285	18,222,334	17,376,230
未払利息	3,134	2,351	1,409	918	1,645	1,759
その他未払費用	225,476	228,067	223,405	185,383	189,361	181,377
(C) 純資産総額（A－B）	21,510,619,289	19,656,114,745	18,763,893,940	18,186,227,342	17,037,007,430	16,254,478,741
元本	25,999,806,133	24,785,825,357	23,177,375,166	21,987,250,097	20,487,907,353	20,127,921,890
次期繰越損益金	△ 4,489,186,844	△ 5,129,710,612	△ 4,413,481,226	△ 3,801,022,755	△ 3,450,899,923	△ 3,873,443,149
(D) 受益権総口数	25,999,806,133口	24,785,825,357口	23,177,375,166口	21,987,250,097口	20,487,907,353口	20,127,921,890口
1万口当たり基準価額（C/D）	8,273円	7,930円	8,096円	8,271円	8,316円	8,076円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第76期4,489,186,844円、第77期5,129,710,612円、第78期4,413,481,226円、第79期3,801,022,755円、第80期3,450,899,923円、第81期3,873,443,149円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第76期0.8273円、第77期0.7930円、第78期0.8096円、第79期0.8271円、第80期0.8316円、第81期0.8076円です。

（注）当ファンドの第76期首元本額は27,545,567,499円、第76～81期中追加設定元本額は2,274,068,921円、第76～81期中一部解約元本額は9,691,714,530円です。

○損益の状況

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	109,595,509	92,099,443	98,859,619	76,501,905	77,404,370	75,682,884
受取配当金	109,657,233	92,175,065	98,896,912	76,521,123	77,435,873	75,719,004
受取利息	-	-	369	907	107	-
支払利息	△ 61,724	△ 75,622	△ 37,662	△ 20,125	△ 31,610	△ 36,120
(B) 有価証券売買損益	212,134,966	△ 615,065,662	579,936,509	451,896,238	154,160,560	△ 418,308,270
売買益	217,094,085	29,658,318	604,368,600	464,948,948	155,266,277	7,358,536
売買損	△ 4,959,119	△ 644,723,980	△ 24,432,091	△ 13,052,710	△ 1,105,717	△ 425,666,806
(C) 信託報酬等	△ 21,830,726	△ 22,009,022	△ 21,760,177	△ 18,026,783	△ 18,414,856	△ 17,559,071
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	299,899,749	△ 544,975,241	657,035,951	510,371,360	213,150,074	△ 360,184,457
(E) 前期繰越損益金	△ 3,413,645,327	△ 3,028,161,071	△ 3,362,199,633	△ 2,581,214,689	△ 1,953,147,958	△ 1,761,456,742
(F) 追加信託差損益金	△ 1,063,443,593	△ 1,259,144,396	△ 1,430,189,043	△ 1,598,255,926	△ 1,587,974,595	△ 1,631,034,419
(配当等相当額)	( 2,871,240,102)	( 2,537,366,392)	( 2,160,284,373)	( 1,877,033,297)	( 1,695,168,042)	( 1,614,995,848)
(売買損益相当額)	(△ 3,934,683,695)	(△ 3,796,510,788)	(△ 3,590,473,416)	(△ 3,475,289,223)	(△ 3,283,142,637)	(△ 3,246,030,267)
(G) 計(D+E+F)	△ 4,177,189,171	△ 4,832,280,708	△ 4,135,352,725	△ 3,669,099,255	△ 3,327,972,479	△ 3,752,675,618
(H) 収益分配金	△ 311,997,673	△ 297,429,904	△ 278,128,501	△ 131,923,500	△ 122,927,444	△ 120,767,531
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,489,186,844	△ 5,129,710,612	△ 4,413,481,226	△ 3,801,022,755	△ 3,450,899,923	△ 3,873,443,149
追加信託差損益金	△ 1,273,281,302	△ 1,486,483,879	△ 1,612,626,207	△ 1,656,287,799	△ 1,639,653,755	△ 1,693,678,137
(配当等相当額)	( 2,661,402,393)	( 2,310,026,909)	( 1,977,847,209)	( 1,819,001,424)	( 1,643,488,882)	( 1,552,352,130)
(売買損益相当額)	(△ 3,934,683,695)	(△ 3,796,510,788)	(△ 3,590,473,416)	(△ 3,475,289,223)	(△ 3,283,142,637)	(△ 3,246,030,267)
繰越損益金	△ 3,215,905,542	△ 3,643,226,733	△ 2,800,855,019	△ 2,144,734,956	△ 1,811,246,168	△ 2,179,765,012

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
(a) 配当等収益(費用控除後)	102,159,964円	70,090,421円	95,691,337円	73,891,627円	71,248,284円	58,123,813円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,871,240,102円	2,537,366,392円	2,160,284,373円	1,877,033,297円	1,695,168,042円	1,614,995,848円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益(a+b+c+d)	2,973,400,066円	2,607,456,813円	2,255,975,710円	1,950,924,924円	1,766,416,326円	1,673,119,661円
分配対象収益(1万円当たり)	1,143円	1,051円	973円	887円	862円	831円
分配金額	311,997,673円	297,429,904円	278,128,501円	131,923,500円	122,927,444円	120,767,531円
分配金額(1万円当たり)	120円	120円	120円	60円	60円	60円



○分配金のお知らせ

	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
1 万口当たり分配金（税引前）	120円	120円	120円	60円	60円	60円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第84期(決算日:2018年12月10日) 第87期(決算日:2019年3月11日)  
第85期(決算日:2019年1月9日) 第88期(決算日:2019年4月9日)  
第86期(決算日:2019年2月12日) 第89期(決算日:2019年5月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第89期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきまして、もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用報告書がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示相米未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
60期(2016年12月9日)	9,121		49	△0.9	102.1	—	2,057
61期(2017年1月10日)	9,133		51	0.7	96.6	—	2,068
62期(2017年2月9日)	9,166		43	0.8	91.5	—	2,018
63期(2017年3月9日)	9,156		42	0.3	98.4	—	2,002
64期(2017年4月10日)	9,170		46	0.7	93.5	—	1,981
65期(2017年5月9日)	9,174		44	0.5	96.9	—	1,993
66期(2017年6月9日)	9,158		46	0.3	94.8	—	2,091
67期(2017年7月10日)	9,074		45	△0.4	95.6	—	2,150
68期(2017年8月9日)	9,090		40	0.6	89.0	—	2,217
69期(2017年9月11日)	9,100		47	0.6	93.0	—	2,180
70期(2017年10月10日)	9,107		42	0.5	102.0	—	2,170
71期(2017年11月9日)	9,091		42	0.3	97.0	—	2,153
72期(2017年12月11日)	9,000		43	△0.5	95.8	—	2,050
73期(2018年1月9日)	8,978		41	0.2	96.2	—	1,994
74期(2018年2月9日)	8,868		40	△0.8	96.4	—	1,863
75期(2018年3月9日)	8,790		41	△0.4	91.3	—	1,822
76期(2018年4月9日)	8,694		46	△0.6	97.4	—	1,800
77期(2018年5月9日)	8,444		46	△2.3	98.2	—	1,672
78期(2018年6月11日)	8,358		48	△0.5	94.9	—	1,631
79期(2018年7月9日)	8,048		43	△3.2	95.5	—	1,412
80期(2018年8月9日)	8,250		47	3.1	95.8	—	1,448
81期(2018年9月10日)	8,172		49	△0.4	94.4	—	1,394
82期(2018年10月9日)	8,198		44	0.9	97.6	—	1,359
83期(2018年11月9日)	7,968		47	△2.2	95.1	—	1,277
84期(2018年12月10日)	7,924		48	0.1	93.9	—	1,213
85期(2019年1月9日)	7,913		43	0.4	92.9	—	1,167
86期(2019年2月12日)	8,101		49	3.0	93.2	—	1,192
87期(2019年3月11日)	8,172		42	1.4	97.7	—	1,156
88期(2019年4月9日)	8,261		44	1.6	95.1	—	1,137
89期(2019年5月9日)	8,246		44	0.4	91.0	—	1,115

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第84期	(期 首) 2018年11月9日	円 7,968	% —		% 95.1	% —
	11月末	7,921	△0.6		96.3	—
	(期 末) 2018年12月10日	7,972	0.1		93.9	—
第85期	(期 首) 2018年12月10日	7,924	—		93.9	—
	12月末	7,936	0.2		92.4	—
	(期 末) 2019年1月9日	7,956	0.4		92.9	—
第86期	(期 首) 2019年1月9日	7,913	—		92.9	—
	1月末	8,094	2.3		93.3	—
	(期 末) 2019年2月12日	8,150	3.0		93.2	—
第87期	(期 首) 2019年2月12日	8,101	—		93.2	—
	2月末	8,157	0.7		97.3	—
	(期 末) 2019年3月11日	8,214	1.4		97.7	—
第88期	(期 首) 2019年3月11日	8,172	—		97.7	—
	3月末	8,328	1.9		94.6	—
	(期 末) 2019年4月9日	8,305	1.6		95.1	—
第89期	(期 首) 2019年4月9日	8,261	—		95.1	—
	4月末	8,293	0.4		95.2	—
	(期 末) 2019年5月9日	8,290	0.4		91.0	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期初は軟調に推移して始まったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長の発言を受けて米国の利上げ打ち止めが市場予想よりも早まるなどの思惑が広がったことなどが市場の変動要因となった中、2018年12月下旬にかけてアジア・ハイ・イールド債券市場は緩やかに上昇しました。
- ◆年明け以降は、FRBの利上げに対する慎重な姿勢が維持されたことや米中貿易協議が進展することへの期待が高まったことなどを背景に上昇しました。
- ◆2019年4月から作成期末にかけては、FRBがハト派(金融引き締めに慎重)的な姿勢を示していることに加え、良好な中国の経済指標や原油価格が上昇したことなどが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一定の範囲内での動きが続きました。

\*市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

＜アジア・ハイ・イールド債券の動き＞



(出所)ブルームバーグ

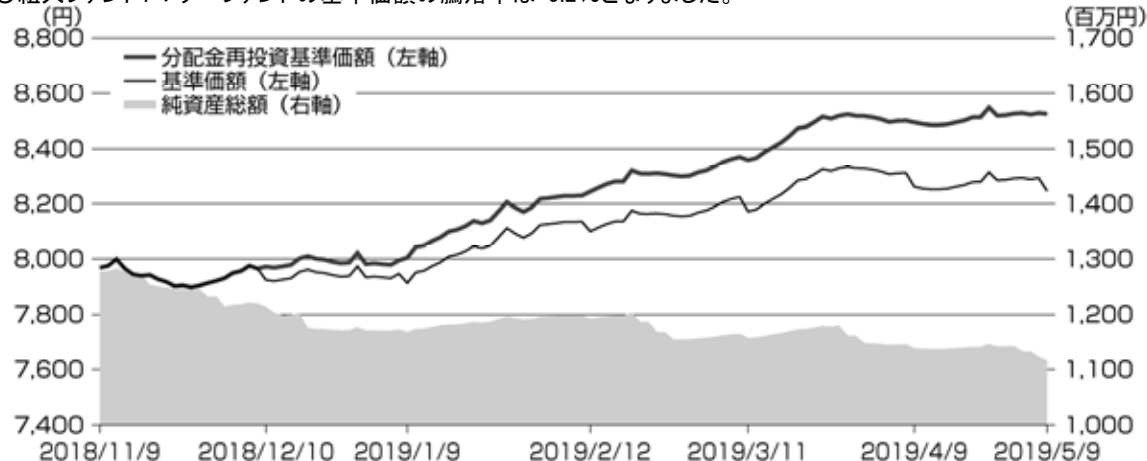
・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+7.0%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+5.2%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇や保有債券からの利金収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。当ファンドにおいては、為替市場で米ドルが対円で下落したことから為替ヘッジはプラスに寄与しました。

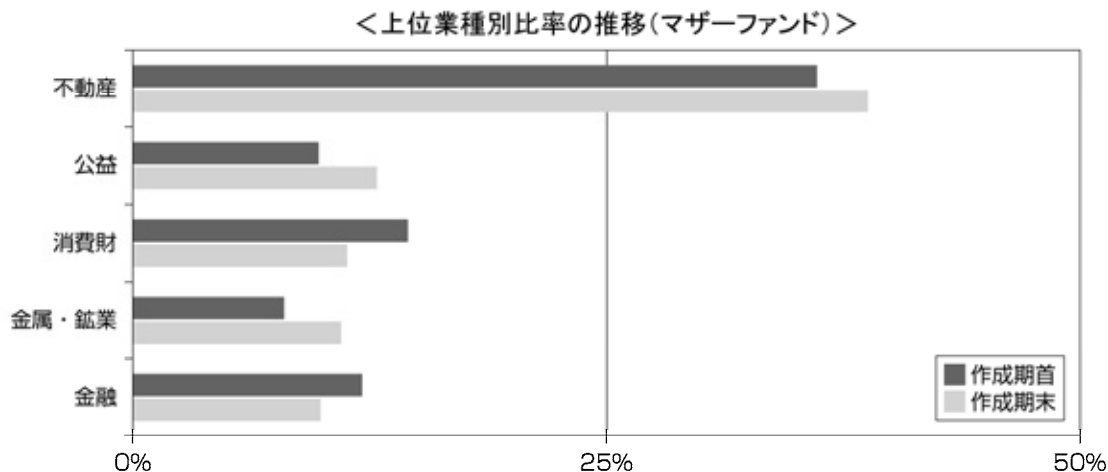
## ◎ポートフォリオについて

### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

### ○マザーファンド

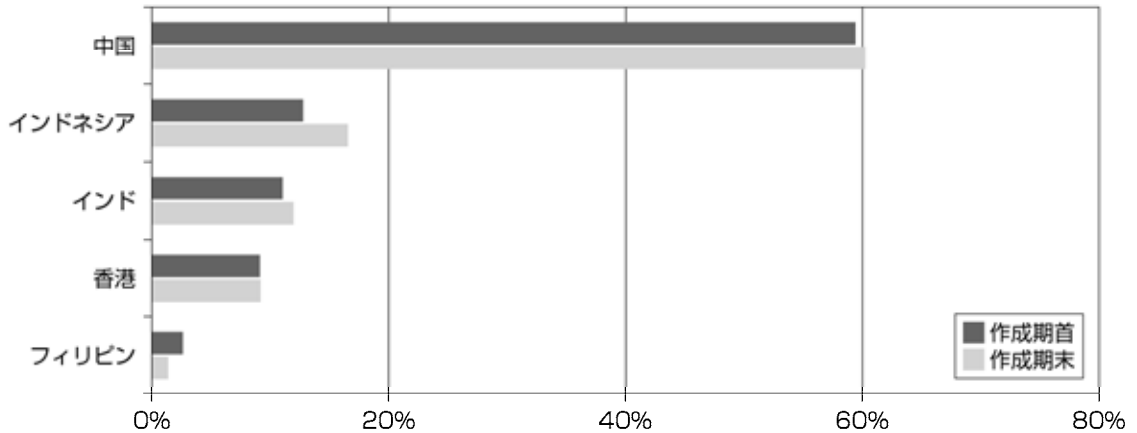
様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。



・組入価証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJ.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

<上位国別比率の推移(マザーファンド)>



・組入有価証券を100%として計算しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で270円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長に減速の兆しが見られるにもかかわらず、先進国及び新興国市場はほぼトレンドの水準での推移を維持していると考えます。米国においても、成長率は低下傾向にあるものの、トレンドを上回る成長が続いていると思われれます。
- ◆中国の景気回復に加え、各国の中央銀行が緩和的な姿勢を強める中、FRBのハト派的な姿勢なども新興国市場の投資家心理を下支えしていると思われれます。
- ◆当社グループでは、FRBは年内、現在の政策を維持すると見えています。
- ◆足元で米国が中国に対し関税を引き上げるなどの動きが見られる中、中国人民銀行(中央銀行)が預金準備率を引き下げると発表しましたが、今後も当局がさまざまな政策により対応をされると考えます。このような状況下、引き続き、米中貿易協議の動向を注視していきます。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月10日～2019年5月9日)

項 目	第84期～第89期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.343	(a) 信託報酬 = [ 当作成期中の平均基準価額 ] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(26)	(0.321)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.018	(b) その他費用 = $\frac{[ 当作成期中のその他費用 ]}{[ 当作成期中の平均受益権口数 ]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	29	0.361	
当作成期中の平均基準価額は、8,121円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第84期～第89期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 15,230	千円 32,972	千口 120,768	千円 271,557

(注) 単位未満は切捨てです。



○利害関係人との取引状況等

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年5月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第83期末		第89期末		
		口	数	口	数	評 価 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口		千口	千円
			583,309		477,770	1,110,816

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2019年5月9日現在)

項	目	第89期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		1,110,816	97.7
コール・ローン等、その他		26,212	2.3
投資信託財産総額		1,137,028	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(15,623,660千円)の投資信託財産総額(15,655,157千円)に対する比率は99.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝110.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
	2018年12月10日現在	2019年1月9日現在	2019年2月12日現在	2019年3月11日現在	2019年4月9日現在	2019年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>2,713,544,459</b>	<b>2,395,031,101</b>	<b>2,444,741,980</b>	<b>2,407,284,960</b>	<b>4,817,422,919</b>	<b>2,245,604,191</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	1,217,439,550	1,134,317,713	1,208,533,072	1,177,240,637	1,141,495,605	1,110,816,842
未収入金	1,496,104,909	1,260,713,388	1,236,208,908	1,230,044,323	3,675,927,314	1,134,787,349
<b>(B) 負債</b>	<b>1,500,100,050</b>	<b>1,227,998,065</b>	<b>1,252,082,645</b>	<b>1,251,176,592</b>	<b>3,679,457,286</b>	<b>1,129,644,860</b>
未払金	1,491,993,869	1,220,966,276	1,244,080,146	1,244,616,115	3,672,740,455	1,113,026,401
未払収益分配金	7,350,684	6,341,372	7,214,083	5,941,813	6,060,971	5,954,813
未払解約金	—	—	—	—	—	9,999,999
未払信託報酬	732,613	669,502	764,534	599,927	635,993	643,545
その他未払費用	22,884	20,915	23,882	18,737	19,867	20,102
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,213,444,409</b>	<b>1,167,033,036</b>	<b>1,192,659,335</b>	<b>1,156,108,368</b>	<b>1,137,965,633</b>	<b>1,115,959,331</b>
元本	1,531,392,532	1,474,737,898	1,472,262,038	1,414,717,385	1,377,493,562	1,353,366,654
次期繰越損益金	△ 317,948,123	△ 307,704,862	△ 279,602,703	△ 258,609,017	△ 239,527,929	△ 237,407,323
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,531,392,532口</b>	<b>1,474,737,898口</b>	<b>1,472,262,038口</b>	<b>1,414,717,385口</b>	<b>1,377,493,562口</b>	<b>1,353,366,654口</b>
1万円当たり基準価額(C/D)	7,924円	7,913円	8,101円	8,172円	8,261円	8,246円

<注記事項>

期首元本額	1,602,706,349円	1,531,392,532円	1,474,737,898円	1,472,262,038円	1,414,717,385円	1,377,493,562円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	71,313,817円	56,654,634円	2,475,860円	57,544,653円	37,223,823円	24,126,908円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	34,342円	31,385円	35,838円	28,121円	29,813円	30,166円
未払委託者報酬	698,271円	638,117円	728,696円	571,806円	606,180円	613,379円

○損益の状況

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年11月10日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月9日	2019年1月10日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月9日	2019年4月10日～ 2019年5月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	1,340,907	5,512,379	35,588,092	16,625,493	18,993,175	4,543,721
売買益	15,020,686	77,003,512	61,409,066	43,587,978	27,837,975	19,830,932
売買損	△ 13,679,779	△ 71,491,133	△ 25,820,974	△ 26,962,485	△ 8,844,800	△ 15,287,211
(B) 信託報酬等	△ 755,497	△ 690,417	△ 788,416	△ 618,664	△ 655,860	△ 663,647
(C) 当期損益金(A+B)	585,410	4,821,962	34,799,676	16,006,829	18,337,315	3,880,074
(D) 前期繰越損益金	△261,901,448	△257,790,785	△258,159,354	△221,391,693	△205,474,038	△189,429,469
(E) 追加信託差損益金	△ 49,281,401	△ 48,394,667	△ 49,028,942	△ 47,282,340	△ 46,330,235	△ 45,903,115
(配当等相当額)	( 55,307,978)	( 52,325,369)	( 51,522,008)	( 49,338,432)	( 47,748,168)	( 46,527,500)
(売買損益相当額)	(△104,589,379)	(△100,720,036)	(△100,550,950)	(△ 96,620,772)	(△ 94,078,403)	(△ 92,430,615)
(F) 計(C+D+E)	△310,597,439	△301,363,490	△272,388,620	△252,667,204	△233,466,958	△231,452,510
(G) 収益分配金	△ 7,350,684	△ 6,341,372	△ 7,214,083	△ 5,941,813	△ 6,060,971	△ 5,954,813
次期繰越損益金(F+G)	△317,948,123	△307,704,862	△279,602,703	△258,609,017	△239,527,929	△237,407,323
追加信託差損益金	△ 50,253,836	△ 49,111,389	△ 49,205,613	△ 47,582,261	△ 46,721,443	△ 46,646,114
(配当等相当額)	( 54,335,543)	( 51,608,647)	( 51,345,337)	( 49,038,511)	( 47,356,960)	( 45,784,501)
(売買損益相当額)	(△104,589,379)	(△100,720,036)	(△100,550,950)	(△ 96,620,772)	(△ 94,078,403)	(△ 92,430,615)
分配準備積立金	3,334	3,163	2,859	1,527	1,953	1,526
繰越損益金	△267,697,621	△258,596,636	△230,399,949	△211,028,283	△192,808,439	△190,762,735

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,378,069円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(55,307,978円)および分配準備積立金(3,514円)より分配対象収益は61,689,561円(10,000口当たり402円)であり、うち7,350,684円(10,000口当たり48円)を分配金額としております。  
(注) 第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,624,602円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(52,325,369円)および分配準備積立金(3,211円)より分配対象収益は57,953,182円(10,000口当たり392円)であり、うち6,341,372円(10,000口当たり43円)を分配金額としております。  
(注) 第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,037,113円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(51,522,008円)および分配準備積立金(3,158円)より分配対象収益は58,562,279円(10,000口当たり397円)であり、うち7,214,083円(10,000口当たり49円)を分配金額としております。  
(注) 第87期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,640,673円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(49,338,432円)および分配準備積立金(2,746円)より分配対象収益は54,981,851円(10,000口当たり388円)であり、うち5,941,813円(10,000口当たり42円)を分配金額としております。  
(注) 第88期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,670,228円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(47,748,168円)および分配準備積立金(1,488円)より分配対象収益は53,419,884円(10,000口当たり387円)であり、うち6,060,971円(10,000口当たり44円)を分配金額としております。  
(注) 第89期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,211,421円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46,527,500円)および分配準備積立金(1,919円)より分配対象収益は51,740,840円(10,000口当たり382円)であり、うち5,954,813円(10,000口当たり44円)を分配金額としております。  
(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
受託者報酬	34,342円	31,385円	35,838円	28,121円	29,813円	30,166円
委託者報酬	698,271円	638,117円	728,696円	571,806円	606,180円	613,379円

○分配金のお知らせ

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
1万円当たり分配金(税込み)	48円	43円	49円	42円	44円	44円

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第84期(決算日:2018年12月10日) 第87期(決算日:2019年3月11日)  
第85期(決算日:2019年1月9日) 第88期(決算日:2019年4月9日)  
第86期(決算日:2019年2月12日) 第89期(決算日:2019年5月9日)

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第89期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきまして、もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1 アジア諸国とは、運用委託先がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2 高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。  
(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	込配	み騰落 金額			
	円		円	騰落率	%	%	百万円
60期(2016年12月9日)	13,409		65	11.0	93.0	—	27,302
61期(2017年1月10日)	13,650		75	2.4	94.5	—	26,028
62期(2017年2月9日)	13,245		64	△2.5	94.9	—	24,785
63期(2017年3月9日)	13,547		61	2.7	96.0	—	25,518
64期(2017年4月10日)	13,212		68	△2.0	96.1	—	25,719
65期(2017年5月9日)	13,457		63	2.3	94.7	—	26,260
66期(2017年6月9日)	13,072		66	△2.4	95.7	—	26,215
67期(2017年7月10日)	13,449		64	3.4	91.8	—	29,234
68期(2017年8月9日)	13,000		58	△2.9	91.8	—	31,317
69期(2017年9月11日)	12,852		67	△0.6	94.6	—	32,428
70期(2017年10月10日)	13,388		59	4.6	97.3	—	34,824
71期(2017年11月9日)	13,532		62	1.5	95.7	—	36,620
72期(2017年12月11日)	13,368		64	△0.7	95.9	—	37,201
73期(2018年1月9日)	13,310		59	0.0	95.5	—	37,233
74期(2018年2月9日)	12,664		59	△4.4	97.3	—	34,438
75期(2018年3月9日)	12,329		58	△2.2	93.8	—	32,940
76期(2018年4月9日)	12,241		64	△0.2	96.4	—	31,686
77期(2018年5月9日)	12,194		64	0.1	96.0	—	30,247
78期(2018年6月11日)	12,095		70	△0.2	95.5	—	29,011
79期(2018年7月9日)	11,788		63	△2.0	94.9	—	26,414
80期(2018年8月9日)	12,156		69	3.7	95.6	—	25,816
81期(2018年9月10日)	12,068		72	△0.1	94.9	—	23,887
82期(2018年10月9日)	12,357		65	2.9	96.1	—	22,596
83期(2018年11月9日)	12,144		72	△1.1	94.8	—	20,448
84期(2018年12月10日)	11,947		72	△1.0	94.2	—	18,971
85期(2019年1月9日)	11,562		65	△2.7	96.1	—	16,997
86期(2019年2月12日)	12,069		73	5.0	92.6	—	17,163
87期(2019年3月11日)	12,244		62	2.0	96.5	—	15,786
88期(2019年4月9日)	12,462		66	2.3	95.4	—	15,251
89期(2019年5月9日)	12,311		67	△0.7	92.0	—	14,446

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			円	%		
第84期	(期 首) 2018年11月9日	12,144		—	94.8	—
	11月末	12,034		△0.9	95.9	—
	(期 末) 2018年12月10日	12,019		△1.0	94.2	—
第85期	(期 首) 2018年12月10日	11,947		—	94.2	—
	12月末	11,828		△1.0	93.8	—
	(期 末) 2019年1月9日	11,627		△2.7	96.1	—
第86期	(期 首) 2019年1月9日	11,562		—	96.1	—
	1月末	11,873		2.7	94.2	—
	(期 末) 2019年2月12日	12,142		5.0	92.6	—
第87期	(期 首) 2019年2月12日	12,069		—	92.6	—
	2月末	12,203		1.1	96.2	—
	(期 末) 2019年3月11日	12,306		2.0	96.5	—
第88期	(期 首) 2019年3月11日	12,244		—	96.5	—
	3月末	12,503		2.1	95.3	—
	(期 末) 2019年4月9日	12,528		2.3	95.4	—
第89期	(期 首) 2019年4月9日	12,462		—	95.4	—
	4月末	12,574		0.9	94.7	—
	(期 末) 2019年5月9日	12,378		△0.7	92.0	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

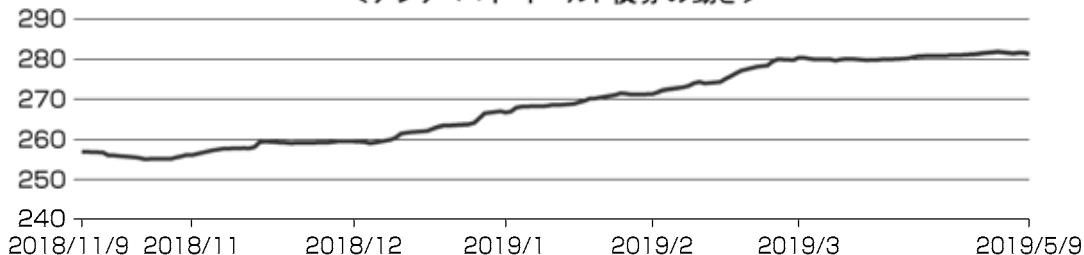
### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期初は軟調に推移して始まったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長の発言を受けて米国の利上げ打ち止めが市場予想よりも早まるとの思惑が広がったことなどが市場の変動要因となった中、2018年12月下旬にかけてアジア・ハイ・イールド債券市場は緩やかに上昇しました。
- ◆年明け以降は、FRBの利上げに対する慎重な姿勢が維持されたことや米中貿易協議が進展することへの期待が高まったことなどを背景に上昇しました。
- ◆2019年4月から作成期末にかけては、FRBがハト派(金融引き締めめに慎重)的な姿勢を示していることに加え、良好な中国の経済指標や原油価格が上昇したことなどが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一定の範囲内での動きが続きました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

＜アジア・ハイ・イールド債券の動き＞



(出所)ブルームバーグ  
・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆一定の範囲内での動きが続きましたが、2018年12月後半に入ると、軟調な製造業関連指数の発表、世界的な株安、米政府機関の一部閉鎖などへの警戒感から米ドルは対円で下落しました。
- ◆年明け以降は、米中貿易協議進展への期待の高まりなどから、投資家のリスク回避姿勢が弱まった中、2019年4月中旬にかけて米ドルは上昇基調で推移しました。
- ◆その後は、米中貿易摩擦への懸念が再燃したことを受けて米ドルは小幅下落して作成期を終えました。

＜米ドル・円相場の推移＞



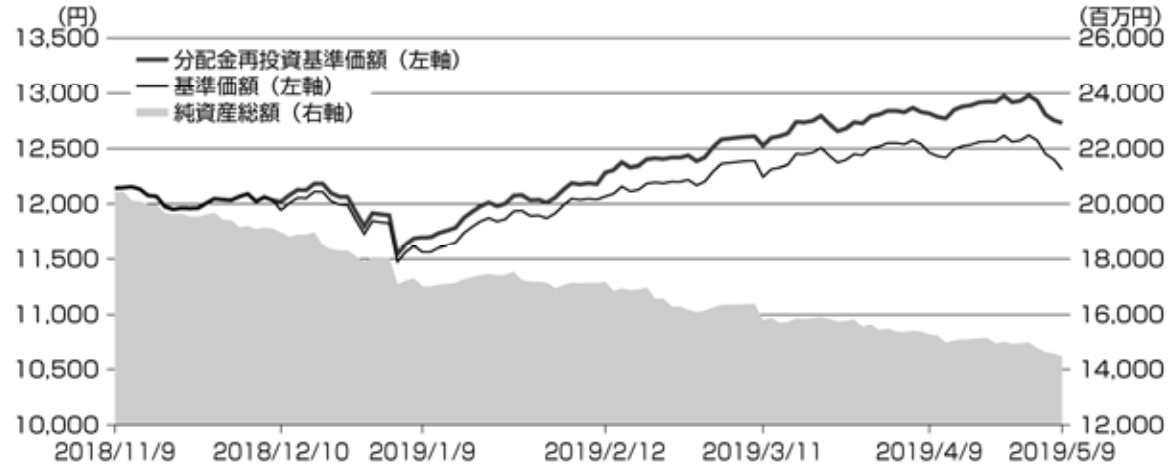
(出所) 投信協会発表レポート

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド:基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+4.8%となりました。

○組入ファンド:マザーファンドの基準価額の騰落率は+5.2%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇や保有債券からの利金収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。



◎ポートフォリオについて

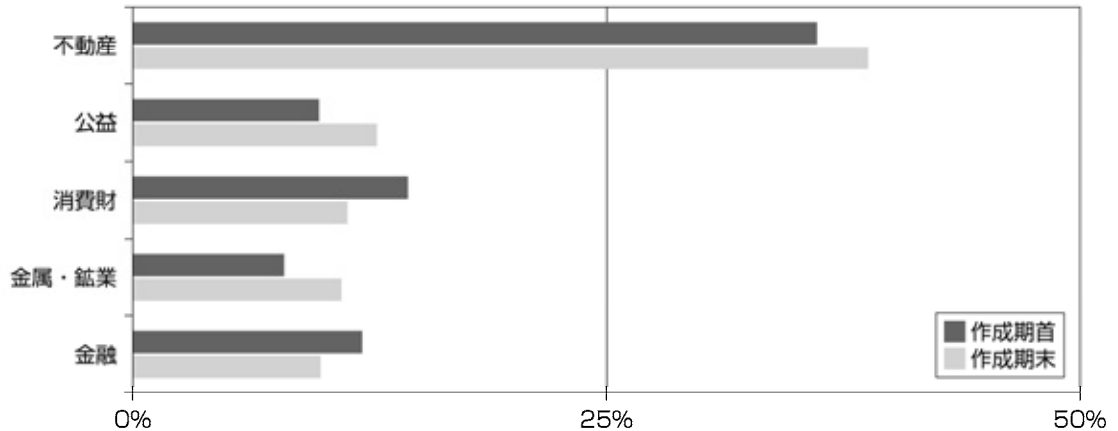
○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

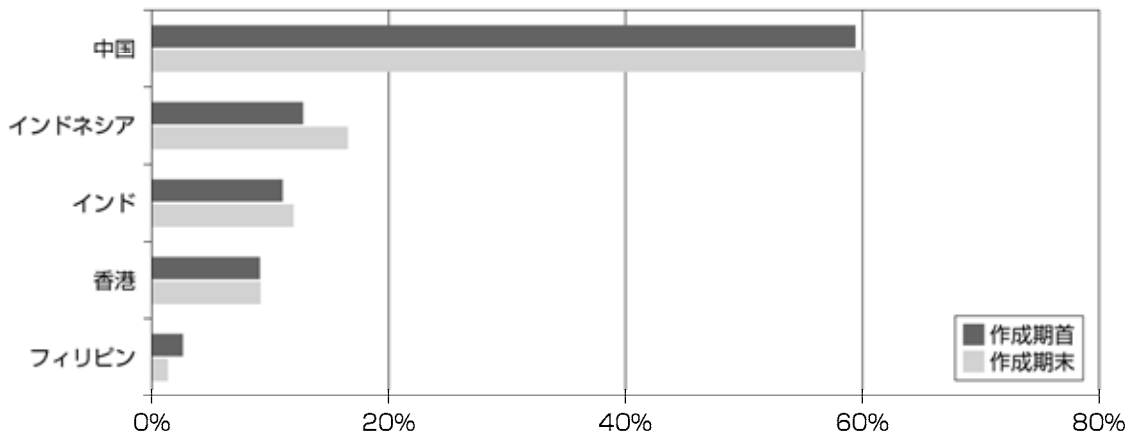
<上位業種別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJ.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

<上位国別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で405円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長に減速の兆しが見られるにもかかわらず、先進国及び新興国市場はほぼトレンドの水準での推移を維持していると考えます。米国においても、成長率は低下傾向にあるものの、トレンドを上回る成長が続いていると思われれます。
- ◆中国の景気回復に加え、各国の中央銀行が緩和的な姿勢を強める中、FRBのハト派的な姿勢なども新興国市場の投資家心理を下支えしていると思われれます。
- ◆当社グループでは、FRBは年内、現在の政策を維持すると見えています。
- ◆足元で米国が中国に対し関税を引き上げるなどの動きが見られる中、中国人民銀行(中央銀行)が預金準備率を引き下げたことを発表しましたが、今後も当局がさまざまな政策により対応をすると考えます。このような状況下、引き続き、米中貿易協議の動向を注視していきます。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月10日～2019年5月9日)

項 目	第84期～第89期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 42	% 0.343	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(39)	(0.321)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 1 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.010)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	44	0.360	
当作成期中の平均基準価額は、12,169円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第84期～第89期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口	千円	千口	千円
	—	—	3,060,289	6,858,251

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年5月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第83期末		第89期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		9,311,589		6,251,299	14,534,271

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2019年5月9日現在)

項	目	第89期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		14,534,271	100.0
投資信託財産総額		14,534,271	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(15,623,860千円)の投資信託財産総額(15,655,157千円)に対する比率は99.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
	2018年12月10日現在	2019年1月9日現在	2019年2月12日現在	2019年3月11日現在	2019年4月9日現在	2019年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>19,097,704,093</b>	<b>17,313,557,535</b>	<b>17,278,193,360</b>	<b>16,277,156,273</b>	<b>15,341,304,917</b>	<b>14,534,271,632</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	19,097,704,093	17,103,557,537	17,278,193,360	15,875,156,274	15,341,304,917	14,534,271,632
未収入金	—	209,999,998	—	401,999,999	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>126,144,704</b>	<b>316,133,243</b>	<b>115,147,273</b>	<b>490,639,205</b>	<b>89,624,928</b>	<b>87,332,670</b>
未払収益分配金	114,332,008	95,557,181	103,810,321	79,940,424	80,773,817	78,627,453
未払解約金	—	209,999,998	—	401,999,999	—	—
未払信託報酬	11,542,696	10,306,064	11,066,952	8,435,190	8,582,904	8,441,432
その他未払費用	270,000	270,000	270,000	263,592	268,207	263,785
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>18,971,559,389</b>	<b>16,997,424,292</b>	<b>17,163,046,087</b>	<b>15,786,517,068</b>	<b>15,251,679,989</b>	<b>14,446,938,962</b>
元本	15,879,445,666	14,701,104,911	14,220,592,050	12,893,616,815	12,238,457,137	11,735,440,815
次期繰越損益金	3,092,113,723	2,296,319,381	2,942,454,037	2,892,900,253	3,013,222,852	2,711,498,147
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>15,879,445,666口</b>	<b>14,701,104,911口</b>	<b>14,220,592,050口</b>	<b>12,893,616,815口</b>	<b>12,238,457,137口</b>	<b>11,735,440,815口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	11,947円	11,562円	12,069円	12,244円	12,462円	12,311円

<注記事項>

期首元本額	16,838,059,445円	15,879,445,666円	14,701,104,911円	14,220,592,050円	12,893,616,815円	12,238,457,137円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	958,613,779円	1,178,340,755円	480,512,861円	1,326,975,235円	655,159,678円	503,016,322円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	541,064円	483,098円	518,766円	395,400円	402,324円	395,693円
未払委託者報酬	11,001,632円	9,822,966円	10,548,186円	8,039,790円	8,180,580円	8,045,739円

○損益の状況

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年11月10日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月9日	2019年1月10日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月9日	2019年4月10日～ 2019年5月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 186,421,514	△ 460,215,069	836,338,357	313,655,442	356,942,672	△ 90,545,724
売買益	7,026,309	17,047,584	852,733,271	332,542,969	369,758,930	4,512,623
売買損	△ 193,447,823	△ 477,262,653	△ 16,394,914	△ 18,887,527	△ 12,816,258	△ 95,058,347
(B) 信託報酬等	△ 11,812,696	△ 10,576,064	△ 11,336,952	△ 8,698,782	△ 8,851,111	△ 8,705,217
(C) 当期損益金(A+B)	△ 198,234,210	△ 470,791,133	825,001,405	304,956,660	348,091,561	△ 99,250,941
(D) 前期繰越損益金	△2,115,854,751	△2,248,223,343	△2,722,575,874	△1,814,629,023	△1,508,840,782	△1,190,495,265
(E) 追加信託差損益金	5,520,534,692	5,110,891,038	4,943,838,827	4,482,513,040	4,254,745,890	4,079,871,806
(配当等相当額)	( 7,550,469,531)	( 6,990,197,363)	( 6,761,719,018)	( 6,130,760,878)	( 5,819,242,335)	( 5,580,065,966)
(売買損益相当額)	(△2,029,934,839)	(△1,879,306,325)	(△1,817,880,191)	(△1,648,247,838)	(△1,564,496,445)	(△1,500,194,160)
(F) 計(C+D+E)	3,206,445,731	2,391,876,562	3,046,264,358	2,972,840,677	3,093,996,669	2,790,125,600
(G) 収益分配金	△ 114,332,008	△ 95,557,181	△ 103,810,321	△ 79,940,424	△ 80,773,817	△ 78,627,453
次期繰越損益金(F+G)	3,092,113,723	2,296,319,381	2,942,454,037	2,892,900,253	3,013,222,852	2,711,498,147
追加信託差損益金	5,520,534,692	5,110,891,038	4,943,838,827	4,482,513,040	4,254,745,890	4,079,871,806
(配当等相当額)	( 7,550,469,531)	( 6,990,197,363)	( 6,761,719,018)	( 6,130,760,878)	( 5,819,242,335)	( 5,580,065,966)
(売買損益相当額)	(△2,029,934,839)	(△1,879,306,325)	(△1,817,880,191)	(△1,648,247,838)	(△1,564,496,445)	(△1,500,194,160)
分配準備積立金	357,504,793	320,414,522	307,884,868	276,215,717	258,459,717	237,321,187
繰越損益金	△2,785,925,762	△3,134,986,179	△2,309,269,658	△1,865,828,504	△1,499,982,755	△1,605,694,846

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益(100,086,656円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(7,550,469,531円)および分配準備積立金(371,750,145円)より分配対象収益は8,022,306,332円(10,000口当たり8,051円)であり、うち114,332,008円(10,000口当たり72円)を分配金額としております。  
(注) 第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(84,995,059円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,990,197,363円)および分配準備積立金(330,976,644円)より分配対象収益は7,406,169,066円(10,000口当たり7,403円)であり、うち95,557,181円(10,000口当たり95円)を分配金額としております。  
(注) 第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(101,753,587円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,761,719,018円)および分配準備積立金(309,941,602円)より分配対象収益は7,173,414,207円(10,000口当たり7,173円)であり、うち103,810,321円(10,000口当たり104円)を分配金額としております。  
(注) 第87期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,001,019円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,130,760,878円)および分配準備積立金(279,155,122円)より分配対象収益は6,486,917,019円(10,000口当たり6,487円)であり、うち79,940,424円(10,000口当たり79円)を分配金額としております。  
(注) 第88期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,052,995円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,819,242,335円)および分配準備積立金(262,180,539円)より分配対象収益は6,158,475,869円(10,000口当たり6,159円)であり、うち80,773,817円(10,000口当たり81円)を分配金額としております。  
(注) 第89期計算期間末における費用控除後の配当等収益(68,111,862円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,580,065,966円)および分配準備積立金(247,836,778円)より分配対象収益は5,896,014,606円(10,000口当たり5,896円)であり、うち78,627,453円(10,000口当たり79円)を分配金額としております。  
(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
受託者報酬	541,064円	483,098円	518,766円	395,400円	402,324円	395,693円
委託者報酬	11,001,632円	9,822,966円	10,548,186円	8,039,790円	8,180,580円	8,045,739円

○分配金のお知らせ

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
1万円当たり分配金(税込み)	72円	65円	73円	62円	66円	67円

# GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 15 期 運用報告書

(決算日:2019年5月9日)

(計算期間:2018年11月10日~2019年5月9日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 値 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
11期(2017年5月9日)	円	22,122	14.5%	94.2%	—%	28,446 百万円
12期(2017年11月9日)		22,968	3.8	95.2	—	39,001
13期(2018年5月9日)		21,379	△6.9	95.5	—	32,144
14期(2018年11月9日)		22,104	3.4	94.2	—	21,872
15期(2019年5月9日)		23,250	5.2	91.5	—	15,645

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 値 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2018年11月9日	円	22,104	—	94.2%	—	—
11月末		21,912	△0.9	95.9	—	—
12月末		21,680	△1.9	93.8	—	—
2019年1月末		21,899	△0.9	94.2	—	—
2月末		22,656	2.5	96.2	—	—
3月末		23,344	5.6	95.3	—	—
4月末		23,612	6.8	94.7	—	—
(期 末) 2019年5月9日		23,250	5.2	91.5	—	—

(注)騰落率は期首比です。

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆ 期初は軟調に推移して始まったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長の発言を受けて米国の利上げ打ち止めが市場予想よりも早まるとの思惑が広がったことなどが市場の変動要因となった中、2018年12月下旬にかけてアジア・ハイ・イールド債券市場は緩やかに上昇しました。
- ◆ 年明け以降は、FRBの利上げに対する慎重な姿勢が維持されたことや米中貿易協議が進展することへの期待が高まったことなどを背景に上昇しました。
- ◆ 2019年4月から作成期末にかけては、FRBがハト派(金融引き締めにも慎重)的な姿勢を示していることに加え、良好な中国の経済指標や原油価格が上昇したことなどが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一定の範囲内での動きが続きました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆ 一定の範囲内での動きが続きましたが、2018年12月後半に入ると、軟調な製造業関連指数の発表、世界的な株安、米政府機関の一部閉鎖などへの警戒感から米ドルは対円で下落しました。
- ◆ 年明け以降は、米中貿易協議進展への期待の高まりなどから、投資家のリスク回避姿勢が弱まった中、2019年4月中旬にかけて米ドルは上昇基調で推移しました。
- ◆ その後は、米中貿易摩擦への懸念が再燃したことなどをを受けて米ドルは小幅下落して期を終えました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+5.2%となりました。



### ◎基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇や保有債券からの利金収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。



## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長に減速の兆しが見られるにもかかわらず、先進国及び新興国市場はほぼトレンドの水準での推移を維持していると考えます。米国においても、成長率は低下傾向にあるものの、トレンドを上回る成長が続いていると思われます。
- ◆中国の景気回復に加え、各国の中央銀行が緩和的な姿勢を強める中、FRBのハト派的な姿勢なども新興国市場の投資家心理を下支えしていると考えられます。
- ◆当社グループでは、FRBは年内、現在の政策を維持すると見ています。
- ◆足元で米国が中国に対し関税を引き上げるなどの動きが見られる中、中国人民銀行(中央銀行)が預金準備率を引き下げることを発表しましたが、今後も当局がさまざまな政策により対応をすると考えます。このような状況下、引き続き、米中貿易協議の動向を注視していきます。

### ◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### ○1万口当たりの費用明細

(2018年11月10日～2019年5月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	2	0.007
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.007)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	2	0.007
期中の平均基準価額は、22,517円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

## 公社債

		買付額		売付額	
		千米ドル		千米ドル	
外国	アメリカ	国債証券	500	—	—
		特殊債券	—	—	4,961
		社債券	11,127	—	60,987
					(4,964)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に( )がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年11月10日～2019年5月9日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年5月9日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(6,729,070千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千米ドル 134,121	千米ドル 130,059	千円 14,307,832	91.5	91.5	28.3	40.8	22.4
合 計	134,121	130,059	14,307,832	91.5	91.5	28.3	40.8	22.4

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&amp;PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	SRILANKA 6.2% MAY27 REGS	6.2	200	185	20,356	2027/5/11
		SRILANKA7.85% MAR29 REGS	7.85	500	500	55,070	2029/3/14
	特殊債券 (除く金融債)	GREENKO DUTCH4.875% REGS	4.875	3,000	2,956	325,277	2022/7/24
	普通社債券	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	2,800	2,609	287,026	2028/1/24
		ABM INVESTAMA7.125% REGS	7.125	3,000	2,927	322,026	2022/8/1
		AGILE GRP HLDGS VAR	10.215	3,000	3,026	332,921	2049/7/29
		ALAM SYNERGY 6.625%	6.625	1,800	1,722	189,451	2022/4/24
		ALAM SYNERGY 6.95% REGS	6.95	171	170	18,790	2020/3/27
		APL REALTY HLDG 5.95%	5.95	3,700	3,173	349,160	2024/6/2
		AZURE POWER 5.5% REGS	5.5	2,800	2,767	304,494	2022/11/3
		BAOXIN AUTO FIN VAR	8.75	2,400	2,410	265,198	2049/12/29
		BAOXIN AUTO FIN VAR OCT	5.625	500	474	52,201	2049/10/29
		BK EAST ASIA VAR EMTN	5.5	3,200	3,216	353,837	2049/12/31
		CENTRAL CHINA 7.325%	7.325	800	803	88,433	2020/1/27
		CHINA AOYUAN 5.375%	5.375	1,700	1,648	181,365	2022/9/13
		CHINA AOYUAN 7.5%	7.5	1,400	1,434	157,770	2021/5/10
		CHINA OIL&GAS 4.625%	4.625	1,600	1,564	172,059	2022/4/20
		CHINA SCE PPT 10%	10.0	500	516	56,860	2020/7/2
		CHINA SCE PPT 7.45%	7.45	2,000	2,038	224,268	2021/4/17
		CIFI HLDGS VAR	5.375	3,200	3,081	338,961	2049/12/29
		CONCORD NEW ENERGY 7.9%	7.9	3,200	3,210	353,225	2021/1/23
		EXPAND LEAD 6.4%	6.4	2,200	2,235	245,964	2021/9/18
		FANTASIA HLDGS8.375%REGS	8.375	400	376	41,381	2021/3/8
		FORTUNE STAR 5.25%	5.25	1,200	1,185	130,427	2022/3/23
		FORTUNE STAR 5.95%	5.95	1,900	1,885	207,392	2023/1/29
		FRANSHION VAR	5.75	2,000	1,904	209,531	2049/12/29
		FWD GRP VAR EMTN	—	2,800	2,190	241,004	2049/12/29
		FWD VAR 49	5.5	3,400	3,160	347,716	2049/2/28
		GCL NEW ENERGY 7.1%	7.1	3,500	3,083	339,265	2021/1/30
		GEMDALE 4.95%	4.95	2,800	2,732	300,598	2022/7/26
		GEMDALE 6%	6.0	300	303	33,381	2021/9/6
		GEMSTONES INTL 8.5%	8.5	3,200	3,101	341,196	2020/8/15
		GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	3,400	3,212	353,402	2023/5/21
		GOLDEN LEGACY6.875% REGS	6.875	3,300	3,293	362,339	2024/3/27
		GOME ELECTRICAL 5%	5.0	3,200	3,152	346,821	2020/3/10
		GREENLAND GLB 5.875%	5.875	1,550	1,455	160,071	2024/7/3
		GREENLAND GLB 5.9% EMTN	5.9	1,100	1,067	117,415	2023/2/12
		GREENLAND HK 3.875% EMTN	3.875	1,500	1,485	163,383	2019/7/28
		ICBC VAR	4.25	900	891	98,027	2049/12/29
		INDIKA ENERGY5.875% REGS	5.875	700	657	72,308	2024/11/9
	INDIKA ENERGY6.875% REGS	6.875	2,300	2,359	259,563	2022/4/10	
	JSW STEEL 5.25%	5.25	500	500	55,062	2022/4/13	
	JUBILANT PHARMA 6%	6.0	200	201	22,115	2024/3/5	

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券					
	LANDSEA GREEN 9.625%	9.625	3,300	3,259	358,603	2020/4/25
	MAOYE INTL 13.25%	13.25	3,000	3,144	345,950	2020/9/27
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	2,100	2,045	225,072	2025/1/30
	NEERG ENERGY 6% REGS	6.0	3,200	3,158	347,441	2022/2/13
	NEW METRO GLOBAL 6.75%	6.75	1,000	1,007	110,811	2020/1/26
	PETRON VAR	4.6	1,800	1,760	193,703	2049/1/29
	POSTAL SAVINGS VAR	4.5	3,200	3,112	342,351	2049/9/29
	POWERLONG 4.875%	4.875	1,100	1,042	114,653	2021/9/15
	RKPF OVERSEAS 7.75%	7.75	300	312	34,403	2021/4/18
	RKPF OVERSEAS 7.875%	7.875	200	209	23,024	2023/2/1
	RONGXINGDA 8%	8.0	1,800	1,773	195,124	2022/4/24
	SCENERY JOURNEY 11%	11.0	700	728	80,157	2020/11/6
	SHUI ON DEV 6.25%	6.25	1,400	1,424	156,710	2021/11/28
	SINO OCEAN LD VAR	4.9	1,400	1,212	133,405	2049/9/29
	SOECHI CAPITAL8.375% REGS	8.375	3,600	3,041	334,591	2023/1/31
	SSMS PLANTATION 7.75%	7.75	1,800	1,720	189,321	2023/1/23
	SUNAC CHINA 8.35%	8.35	700	717	78,905	2023/4/19
	TATA STEEL/ABJA 5.95%	5.95	500	510	56,185	2024/7/31
	TBLA INTL 7%	7.0	400	392	43,187	2023/1/24
	TIMES CHINA 7.625%	7.625	500	512	56,409	2022/2/21
	TIMES PROPERTY 5.75%	5.75	2,600	2,536	279,055	2022/4/26
	VEDANTA 6.125% REGS	6.125	800	718	79,001	2024/8/9
	VEDANTA 8% REGS	8.0	1,400	1,397	153,741	2023/4/23
	VEDANTA 8.25% REGS	8.25	700	723	79,550	2021/6/7
	WEST CHINA CEMENT 6.5%	6.5	2,400	2,406	264,694	2019/9/11
	WISDOM GLORY GRP VAR	5.25	1,600	1,588	174,764	2049/7/27
	WOORI BANK VAR REGS	5.25	300	303	33,353	2049/5/29
	WTT INVESTMENT 5.5% REGS	5.5	2,400	2,446	269,148	2022/11/21
	YANGO JUSTICE 9.5%	9.5	700	699	76,936	2021/4/3
	YANGO JUSTICE 9.5% MAY	9.5	400	400	44,067	2021/4/3
	YANKUANG 4.75%	4.75	1,900	1,890	207,963	2020/11/30
	YUZHONG PRPTY 6%	6.0	1,800	1,760	193,717	2022/1/25
	YUZHONG PRPTY 6% 23	6.0	1,300	1,224	134,689	2023/10/25
合	計	—	—	—	14,307,832	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	14,307,832	91.4
コール・ローン等、その他	1,347,325	8.6
投資信託財産総額	15,655,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(15,623,660千円)の投資信託財産総額(15,655,157千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.01円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月9日現在)

## ○損益の状況 (2018年11月10日～2019年5月9日)

項 目	当 期 末
	円
<b>(A) 資産</b>	<b>15,979,620,367</b>
コール・ローン等	995,461,840
公社債(評価額)	14,307,832,235
未収入金	452,973,533
未収利息	222,481,877
前払費用	870,882
<b>(B) 負債</b>	<b>334,605,102</b>
未払金	324,605,029
未払解約金	9,999,999
未払利息	74
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>15,645,015,265</b>
元本	6,729,070,312
次期繰越損益金	8,915,944,953
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>6,729,070,312口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	23,250円

項 目	当 期
	円
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>584,950,693</b>
受取利息	582,332,657
その他収益金	2,623,739
支払利息	△ 5,703
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>286,108,702</b>
売買益	1,141,610,474
売買損	△ 855,501,772
<b>(C) その他費用等</b>	<b>△ 1,325,721</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>869,733,674</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>11,977,218,584</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>17,742,842</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 3,948,750,147</b>
<b>(H) 計(D+E+F+G)</b>	<b>8,915,944,953</b>
次期繰越損益金(H)	8,915,944,953

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額	9,894,898,628円
期中追加設定元本額	15,230,058円
期中一部解約元本額	3,181,058,374円
元本の内訳	
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	6,251,299,627円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	477,770,685円

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈参考情報〉

クレディ・スイス・アジアCBファンド

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

運用会社	クレディ・スイス・アセット・マネジメント（スイス）リミテッド
投資対象	アジア（除く日本）のCB
投資方針	転換社債（CB）への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 銘柄選定にあたっては、利回りに加え、発行体リスク、流動性を踏まえ、組入銘柄および組入比率を決定します。</li> <li>2. 特に信用リスクや流動性などを踏まえ、アジア（除く日本）のCB市場において相対的に投資利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。</li> </ol>
通貨クラス	<p>（円ヘッジクラス）</p> <p>外貨建資産（米ドル以外の資産については、原則として米ドルを用いて間接的に為替ヘッジを行います。）について、原則として円で為替ヘッジを行う円建て投資信託証券を発行します。</p> <p>（ヘッジなしクラス）</p> <p>外貨建資産について、対円での為替ヘッジを行わない円建て投資信託証券を発行します。</p>
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワラント債、ワラント、優先株（株式転換権付）、シンセティック転換社債、その他のオプションの付与された債券等、上場株、MMF等に投資を行うことがあります。</li> <li>2. 原則として、空売りおよびレバレッジをかけた運用は行いません。</li> <li>3. 原則として、先物、オプション、スワップ等を用いた為替変動リスク、金利変動リスクのヘッジは行いません。</li> <li>4. 一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとします。</li> <li>5. ファンドの純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> </ol>
申込手数料	ありません。
運用報酬等	<p>運用報酬：年率0.60%</p> <p>管理・事務費用：年率0.06%</p>
その他費用	<p>受託費用（年間10,000米ドル）、保管費用、信託財産に関する租税、組入有価証券等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、トラスト設立費用（当該費用に関しては、原則として当初5年間の間に償却される予定です。）等が信託財産から支払われます。</p>

※「クレディ・スイス・アジアCBファンド」は監査未了のため、開示できる情報はございません。